

電波新聞

2019年(平成31年)
3月21日
(木曜日)

発行所 電波新聞社
東京本社
〒141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15
◎03(3445)6111(大代表) 大阪本社
〒541-0045 大阪市中央区道修町3-2-6 (ウエムラビル4階)
◎06(6203)3361(大代表)
◎電波新聞社 2019

(第三種郵便物認可)

電 波 新 聞

ロボティクス

三明機工(静岡市清水区)は、鑄造プラントシステム、ロボット&FAシステム、ダイカストマシン周辺自動化システム、フラットパネルディスプレイ(FPD)製造自動化システムなどを主力事業に、国内製造業の顧客1件ごとのニーズに対応したオーダーメイドの自動化ロボットシステムの提案を積極的に展開している。



三明機工の本社

オーダーメイドの自動化ロボットシステム



久保田 社長

1947年に設立された同社は、鑄造プラント材料供給装置の自動化や工場のFA化などからスタートした。自動車産業の拡大に伴うエンジン周りのダイカストマシン自動化システム、液晶ガラスや液晶パネルなど大量生産

に对应したFPD製造ラインの自動化システムなど、常に時代の先端技術を手がけながら、モノづくりのノウハウを蓄積し、事業の多角化を進めてきた。

久保田和雄社長は「当社の強みである機械技術、電気技術、ロボット技術を駆使した総合システム力を生かして開

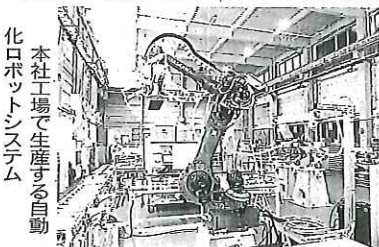
三明機工(岡市区静岡)が積極的に提案

(岡市区静岡)

品を高精度にピッキングできるシステムを提供している。品質方針は「顧客のニーズに期待に応えた製品とサービスを提供する」。

トルを合わせ、顧客満足度の改善のスピードアップを図る。当社のシステムの実行と改善に必要な資源を確保する」の三つだ。

国内顧客1件ごとニーズ対応 総合システム力生かし開発



三明機工(静岡市清水区)は、国内の主要ロボットメーカー全てと取引し、全国ネットの販売網を持つ。顧客の問題点を的確に把握して、グループ各社の開発力・技術力をコーディネートし、大手メーカーでは困難な、1社1棟の開発製品プレゼンテーションを行っている。

昨年9月に、3Dスキャニングの鑄物ラインダロボットのデモ機を完成させ、顧客にアピールしている。

同協会は、FA・ロボットシステムの開発・製造を事業とするSIEYの共通基盤ネットワークを確立することが目的。受注機会の拡大や、ユーザーの要望にベストフィットを提供でき、SIEYとのマッチングの表現に向けた受注注ネットの構築を図る。ロボットアドバイザー資格や、ロボットエンジニアリング資格など人材育成も推進している。

FAのシステムインテグレーションとして、IoTへの取り組みでは生産モニタリングシステム、ビッグデータを利用した遠隔制御システム、ティーチングシステムなど社内(SIer)協会、東京都港区の会長を務めている。

現在、各社自動化システムは広島で開く予定だ。